

様式1

農山漁村活性化応援事業 申請書

令和 年 月 日

兵庫県農政環境部農政企画局総合農政課

楽農生活室長 様

申請団体名 NPO法人楽農生活

代表者 理事長 楽農 太郎

住所 神戸市中央区下山手通〇-〇-〇

電話番号 078-362-〇〇〇〇

E-mail アドレス Rakuno@〇〇.〇〇.jp

農山漁村活性化応援事業を実施したいので、農山漁村活性化応援事業実施要領第6の1に基づき関係書類を添えて提出します。

記

添付書類 (別紙) 農山漁村活性化応援事業計画書

応募団体及び活動団体の活動概要が分かる資料 (定款、規約、役員名簿等)

その他の説明資料

(様式1 別紙)

農山漁村活性化応援事業計画書
—(変更計画書・実績書)—

1 応募団体の概要

団体名	NPO法人楽農生活				
代表者職・氏名	理事長 楽農 太郎				
構成員数	10名				
連絡先	住所	〒650-8567 神戸市中央区下山手通〇-〇-〇			
	Tel	078-362-〇〇〇〇	Fax	078-362-〇〇〇〇	
	担当者	職名	主任	氏名	楽農 次郎
	E-mail	Rakuno@〇〇. 〇〇. jp			
団体の主な活動内容	・都市農村交流イベントの企画・運営 ・農山漁村の空き家改修 ・地場農産物の加工等活用アドバイス 等				
これまでに実施した都市農山漁村交流活動の概要	・〇〇市〇〇集落の棚田で都市地域の小学生が稲作体験や収穫祭に取り組む交流活動を企画・実施。(H30~) ・〇〇町〇〇集落で、公募ボランティアが耕作放棄地を開墾、地元住民と枝豆等の栽培、鳥獣防護柵の設置等の交流活動を企画・実施。(R1~R2) など ※詳細は別添資料のとおり				

2 事業対象地域、団体の概要

	農山漁村部	都市部			
対象地域(市町名)	〇〇集落(〇〇町)	〇〇地区(〇〇市)			
団体名	〇〇自治会				
	〇〇〇〇の会				
	代表者職・氏名	会長 〇〇 〇〇	代表 〇〇 〇〇		
	所在地	〒666-〇〇〇〇 〇〇町.....	〒662-〇〇〇〇 〇〇市.....		
構成員数	35名	50名			
連絡先	職名	担当	担当		
	氏名	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		
	Tel・Fax	Tel	079-〇〇〇-〇〇〇〇	Tel	0798-〇〇-〇〇〇〇
		Fax	079-〇〇〇-〇〇〇〇	Fax	0798-〇〇-〇〇〇〇
	E-mail	〇〇〇@〇〇. 〇〇. jp	〇〇〇@〇〇. 〇〇. jp		

3 事業の概要

<p>対象地域 (農山漁村部) の概要</p>	<p>対象地域とする農山漁村部の状況〔人口の推移・年齢構成等の状況、農林水産業の状況、地域資源（棚田、祭り等）の状況等〕について記載。</p> <p>〇〇集落は、〇〇町の北西部にある〇〇山の麓に位置し、〇〇川の上流に位置する集落である。周囲を500m～800mの山々に囲まれ、集落の標高は300m～500m、冬には2m以上の積雪がある。人口は50世帯、120名（令和2年3月時点）で高齢化率60%であり、過疎化が進んでいる。集落の40世帯が農家で水稻を中心に特産物の柿の生産を行っている、集落の農地は急傾斜な棚田であるため農作業の効率は悪く、一部の棚田で耕作放棄が見られるなど、棚田の保全に苦勞している。一方、集落に広がる風光明媚な棚田は、TV・雑誌で紹介されるなど、観光資源としての活用が期待される。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>集落と都市ボランティアの協働により、〇〇集落の棚田を活用した交流活動やイベントを実施、多くの都市住民等に〇〇集落のファンになってもらうことで、〇〇地域の活性化を図る。</p>
<p>地域の課題</p>	<p>対象地域の課題について記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化により地域の活力が低下している。 ・ 農業の担い手不足により棚田保全が困難となっている。
<p>事業内容 (1) 活動方針</p>	<p>地域資源を活用しながらどのように課題解決していくのか、3年間の活動方針について記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田を活用した都市農村交流活動により、地域の魅力をアピールし、地域住民と都市住民の継続的な棚田保全活動を実施。 ・ 〇〇集落の特産物である柿を材料に新たな特産品の開発とPRを実施。
<p>(2) 実施体制</p>	<p>農山漁村部と都市部及び応募団体との関係や役割を図示するなど、事業実施体制について記載。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A["NPO 法人楽農生活"] B(["〇〇自治会"]) C["〇〇〇の会"] A -- コーディネイト --> B A -- コーディネイト --> C B <--> 棚田保全活動 イベント開催 特産品の開発 C </pre> </div>
<p>(3) 事業継続に際して創意工夫する内容</p>	<p>応募団体や対象地域の負担を軽減するなど、継続した活動を行うためのアイデアや工夫などについて記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇集落ファンクラブを結成・会員募集。会員にイベントや旬の地域農産物等情報発信し、継続的な交流活動を行うための仕組み作りを行う。 ・ イベントでの収入や特産品の販売収入の一部を交流活動の経費として活用する。

(4) 事業効果	事業実施による対象地域とする農山漁村部での農林水産業の振興や活性化等の効果について記載。 ・ 棚田保全が図られる。 ・ 永続的な都市農村交流活動が実施される。 ・ ○○集落のファンを増やし、将来的には二地域居住、定住に結びつける。			
(5) 事業計画 【1年目】	実施時期	場所	参加者数 (農村部:都市部)	内容
	10月上	○○集落	20名 (10・10)	事業実施方針打合せ
	10月中	○○集落	40名 (15・25)	棚田の稲刈体験、集落と○○会との意見交換
	10月下	○○集落	40名 (15・25)	特産品開発、秋の収穫祭打合せ、PR
	11月	○○集落	500名 (15・485)	収穫祭
	2月	○○集落	20名 (10・10)	次年度取組打合せ
【2年目】	実施時期	場所	参加者数 (農村部:都市部)	内容
	6月上	○○集落	20名 (10・10)	事業実施方針打合せ
	6・8月	○○集落	各40名 (15・25)	棚田の草刈り、集落と○○会との意見交換
	7・8月	○○集落	各40名 (15・25)	空き家修理、空き家MAP作成
	10月	○○集落	500名 (15・485)	収穫祭
	2月	○○集落	20名 (10・10)	次年度取組打合せ
【3年目】	実施時期	場所	参加者数 (農村部:都市部)	内容
	6月上	○○集落	20名 (10・10)	事業実施方針打合せ
	6・8月	○○集落	各40名 (15・25)	棚田の草刈り、集落と○○会との意見交換
	7・8月	○○集落	各40名 (15・25)	空き家修理、
	10月	○○集落	500名 (15・485)	収穫祭、移住相談会実施
	2月	○○集落	20名 (10・10)	次年度取組打合せ

4 事業の収支予算（決算）

（1）収入の部

科目	予算(決算)額(円)	摘要
補助金	250,000円	
自己負担金	50,000円	団体負担金 50,000円
その他	50,000円	イベント収益 50,000円
計	350,000円	

(注1) 科目は、補助金、自己負担金、その他に分けて記載すること。

(注2) 補助金額は、50千円から250千円（50千円単位の額）とし、端数は切り捨てること。

（2）支出の部

経費区分	経費額(円)	摘要
1 交通費	140,000円	大型バス借上1台（収穫祭時）120,000円 事務局員交通費（〇〇自治会、〇〇の会との打合せ） 20,000円 含稅額
2 事務費	170,000円	（消耗品費）30,000円 稲刈り用鎌購入費（2,000円×10本） 企画資料作成費10,000円 （印刷製本費）50,000円 チラシ作成費（5×10,000枚） （通信運搬費）30,000円 切手代 （使用料及び賃借料）60,000円 ほ場利用料（管理指導費込）30,000円 焼きいも機レンタル30,000円 含稅額
3 委託料	20,000円	見所マップ作成費20,000円 含稅額
4 人件費	20,000円	イベント準備1,000円/h×10人×2h 含稅額
計	350,000円	

(注1) 経費区分は、交通費、事務経費、委託費等に分けて記載すること。

(注2) 摘要欄には、経費額の内訳のほか、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には「減額した金額」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含稅額」とそれぞれ記入すること。

5 事業完了（予定） 令和4年2月28日